

まつどミュージアム

No. 2 1994年(平成6年)3月



大人気の竪穴住居

博物館の北側出口に続くブリッジを渡ると、目の前に3棟の竪穴住居が見えてきます。これらは、松戸市内の縄文時代中期(約4500年前)の遺跡、子と清水貝塚の発掘調査資料をもとに復元したものです。入り口の梯子段を降りて、1mほど掘り下げられた竪穴に入ると、火があかあかと燃えているのが目に入

ります。中は、ちょっと暗くて、夏は少しひんやりと、冬は少し暖かな感じですが。

竪穴住居では縄文時代のくらしについて、解説員による説明が随時おこなわれています。

〈開放時間〉

火～日：午前10時～12時

午後1時～3時30分

展 覧 会

松戸市立博物館では常設展示のほかに、毎年、特定のテーマに基づいた展覧会を企画しています。この他に、館蔵資料を中心にできるだけ多くの資料を公開する目的の資料展示などの展示があります。

平成5年度の展覧会

■「松戸写真館」

——カメラがとらえた松戸の人々——

平成5年4月29日～6月13日

「松戸写真館」は市制施行50周年および松戸市立博物館の開館を記念して企画した展覧会です。激しく変動した近代の松戸とそこに生きた人々のくらしを写真を中心に展示したものです。明治の松戸から昭和30年代までの松戸の風景やくらし、さまざまな行事、小学校などの集合写真等、それぞれの時代をたくましく生きた人々の姿が描かれています。

■「縄文土器の世界」

平成5年10月23日～12月12日

松戸は幸田貝塚、子と清水貝塚、貝の花貝塚など日本有数の遺跡をはじめ、縄文時代の

遺跡が集中している地域です。この展覧会では、市内の縄文時代の遺跡から出土した土器を中心に展示を行ったものです。また、縄文時代と同時代の世界各地の土器との比較を行い、縄文時代の生活文化の特色をより深く理解できるよう展示しました。

■「東葛地区新出土品展」

平成6年2月1日～3月17日

東葛地区で、平成元年度から平成4年度にかけて発掘調査された遺跡の主要な出土品を中心に展示を行いました。流山市三輪山道六神遺跡・鎌ヶ谷市中沢遺跡・沼南町幸田原遺跡・我孫子市小暮遺跡・野田市上三ッ尾宮前遺跡・松戸市小野遺跡といった縄文時代前期から平安時代におたる遺跡の出土品の数々が展示されました。

■「市内出土の縄文土器」

平成5年4月29日～8月31日

館蔵資料のうち、質量ともに豊富な縄文土器の公開を目的に行った展示で、縄文土器のうっぴかりに焦点をあてたものです。



特別展 縄文土器の世界

講座・講演会・体験学習

博物館では、考古・歴史・民俗学関連の講座や講演会、体験学習講座を開いています。平成5年度は次のような講座・講演会を開きました。

講座・講演会

■古文書講座

中近世の古文書の解説を通して、幅広い歴史の見方を学ぶ目的で行ったものです。

(1)近世編

平成5年5月23日～8月1日(全6回)

講師：学芸員 小高昭一

(2)近世中級編

平成5年10月6日～12月8日(全10回)

講師：元筑波大学教授 渡邊一郎氏

(3)中級編

平成6年2月19日～3月28日(全6回)

講師：学芸員 中山文人



古文書講座 近世中級編

■歩く講座

「柳田國男と利根川図誌をあらく」

柳田國男の学問形成に大きな影響を与えた利根川地域を中心にさまざまな観察をしながら歩きました。

平成6年3月20日・26日

講師：学芸員 山田尚彦

■特別展記念講演

「縄文文化研究における松戸」

平成5年11月14日

東海大学教授関根孝夫先生によって、松戸の遺跡調査の沿革と縄文文化研究の流れについての講演が行われました。



特別展記念講演

■関東葛地区遺跡発表会

平成6年2月19日

「関東葛地区新出土品展」に展示した資料の出土遺跡について、それぞれの遺跡の発掘担当者が解説を行いました。

■学芸員定期講演会

博物館学芸員の日頃の研究成果を発表するもので、5年度は隔月で開催しました。

第1回 9月12日 「関東の藤ノ木古墳」

講師：学芸員 松尾昌彦

第2回 11月28日 「常盤平団地の誕生」

講師：学芸員 青木俊也

第3回 1月16日 「国府台の合戦」

講師：学芸員 中山文人

第4回 3月13日 「縄文時代の編物」

講師：学芸員 倉田恵津子

■夏休みこども歴史相談室

小中学生を対象に、歴史についての疑問や質問を受け付け、それに博物館学芸員が回答したものです。平成5年8月5日・26日

■夏休み特別講演

「なぜ? なに? 縄文時代のくらし」

小学校1～4年生を対象にして、堅穴住居のなかで、縄文時代の衣食住について講演を行いました。

平成5年8月13日 講師：学芸員



なぜ? なに? 縄文時代のくらし

■体験学習

■布を織る

機を使って、細く裂いた木綿布を横糸にして織り込む、裂き織りの体験講座です。

小学生対象 (各日2回)

平成5年7月27日・28日、8月3日・4日

一般成人対象 (毎週水曜日、各日2回)

平成5年8月10日・11日、9月8日～12月22日

■民族楽器をつくろう

かつては世界中に分布し、魔除けのお守りともいわれる民族楽器「うなり木」づくりを



民族楽器をつくろう「うなり木」で遊ぶ

行いました。小学4～6年生対象。

平成5年8月17日

講師：社会教育課 市毛三郎

■縄文土器をつくろう

縄文時代を象徴する生活用具である縄文土器の復元製作を行いました。

中学生以上対象。

平成5年11月7日～12月12日 (5回)

講師：社会教育課 大塚広住

■博物館館内公開

博物館ってどんなところ?何をしているの?といった皆さんの疑問に答えるため、日頃は見る機会のない、博物館の裏方を中心に見学を行いました。

平成6年2月12日

■ロウソクをつくろう

明治になって輸入された西洋ロウソクの製作体験を行いました。小学生対象。

平成6年3月20日・21日

講師：キャンドルクラフト協会 増田かほる氏

■利用案内

■開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 月曜日(ただし祝日にあたるときはその翌日)

館内整理日(毎月第4金曜日)

年末年始(12月28日～1月4日)

■観覧料

	個人	団体
一般	300円	240円
高校生・大学生	150円	100円
小学生・中学生	100円	60円

全例儀・特別展に限り観覧料をいただくことがあります。

(小学生未満は無料・団体は20人以上)

■交通 新京成線八柱駅・JR武蔵野線新八柱駅下車、新京成バス小全駅団地行「公園中央口」下車

まつどミュージアム No.2

発行日 1994年(平成6年)3月31日

編集・発行◎ 松戸市立博物館

〒270 千葉県松戸市千駄堀 671

☎0473-84-8181